

## 大阪高裁の不当判決是正を

### 原告ら、最高裁に申し入れ

一 陣訴訟の原告らは去る一月二十七日、最高裁に対して、法と正義に基づいて大阪高裁（三浦潤裁判長）の不当判決を是正することを申し入れました。

前日までに降った雪が道端に掻き分けられて融けずに固まり、東京はこの冬一番の寒さ。朝八時前から最高裁判所前には原告・弁護団をはじめ首都圏の支援者ら八〇人が集まりました。

原告らは、「夫は家族のために一生懸命働いて肺がんにな

り、苦しんで苦しんで六四歳でなくなりました。生活のために一生懸命働いたのに病気になるのは、マスクをしなかった労働者が悪いという大阪高裁の判決は許せません。今も多くの原告の病状が悪化しているのが危ないです。最高裁がこんな判決を覆して、原告らの「生き

ていうちに救済を」のお願いを実現する判決を下すことをお願いします」と訴えました。

## 2陣訴訟判決裁判 3月28日(水)

午後1時集合 大阪地方裁判所前  
午後3時報告集会

大阪弁護士会館2階ホール



### 第二陣訴訟

「全面救済求める判決署名」  
20万人を突破！さらに  
30万人めざし ご協力を

第二陣の原告らは、二月八日、大阪地裁（小野憲一裁判長）に「全面救済を求める判決署名」七九八八八分を提出しました。未提出分を加えると既に20万人を突破。三月二十八日の地裁判決に向けて30万人をめざして、原告団・支援のみなさんのご協力をお願いします。

「公正な判断を」  
最高裁に要請

## 大阪・泉南アスベスト国賠訴訟

### 「生きているうちに救済を」

## 国は責任を認め、早期解決を



残り少ない命、ひとつの安心、生きる望みを与えてください

原告らの手紙を最高裁にとどける

原告らは、最高裁への申し入れに、自筆の手紙を持参しました。手紙には、「しんどい」と声をだすことで精いっぱいです。残り少ないのちですが、ひとつの安心、生きる望みを与えてください」（西村東子さん）

など綴られています。

石綿対策全国連絡会の代表は、「日本はアジアで最も早く石綿産業が興り、被害が出

た国。しかし対策は欧米より数年遅れた。大企業にも責任はあるが国にも責任があることは明らか。国の責任を否定した高裁判決は、世界中から驚きをもって注目されている。最高裁が、国際的にも胸を張れるような公正な判断を下すよう期待しています」と要請しました。

### 「人の値段はいくら？」

#### 湖山幸子

一月二十五日、原一男映画監督製作のアスベスト被害の記録映画の試写会を観てきました。今回は「岡田陽子さん」を中心としたもので

かき、自分たちではできないことをしてくださる痛さや苦勞を重ねたことが心を優しく豊かにさせていただきました。全国安全センターの澤田慎一郎さんの話で、「人の値段はいくら？」と。ダルビツシユ有は二百六十億円、AKB48は三百億円、スカイツリーは八十八億円の経済効果だと。「最大多数の最大幸福効用の最大化」といえば・・・私たちがアスベスト従事者被害者は、日本の骨格、高度成長を成し遂げたといっても過言でなく、ダルビツシユ有などの経済効果は足元にも及びません。

原因が石綿とも知らず、亡くなった多くの屍が泉南にいつぱいいます。私たちはその人たちの代弁もしているのです。「国は人の命と工業・産業を天秤にかけている。許せない！」記者会見で岡田陽子さんのインタビューです。「両親の職歴は私の職歴。国は上告せず、速やかに救済してほしい。どのように救済されるか、皆さん見守ってください。母（春美）は常に後悔の念で、『娘をどうにかしててください』と」。終わって、生徒の方が感想。「生と死について深く考えさせられた。暖かい人間になれるように」と。

岡田陽子さんの母・春美さんの悲報を聞きました。四日急死。石綿の死に方です。無念、残念。

### 報告 岡田 春美さん

アスベスト国賠裁判 六人目の犠牲者



枕元 病いの娘 母思い  
同じ病いで死に化粧  
また一人 われらの仲間 黄泉の国  
生きた証を 忘れちゃならぬ

# 逆転勝利を勝ち取る年、2012年新春のつどい

## 人生を台無しにされた弱者に救済の手を



福岡県筑豊  
じん肺の  
原田弁護士

「悪魔の判決」以来暗い気持ちで年を越しましたが、新しい年に、新しい気持ちで「命がけ」で目標に

「悪魔の判決」以来暗い気持ちで年を越しましたが、新しい年に、新しい気持ちで「命がけ」で目標に

一月二十一日、逆転勝利を勝ち取る年、新春のつどいが泉南市樽井公民館で開催されました。

いつも全力で応援してください。人生を台無しにされた弱者は命も顧みず、清く正しく生きるために働いただけの被害者です。この被害者が救われたい。誰が助けてくれるのか。裁判をして六年。尊い六名の人命が奪われました。退院できるといわれながら急変するのがアスペクト病です。悔しい、悲しい、この怒りを国に言いたい。絶対に逆転勝利を期して、団結して闘いましょう。(湖山)



1.21 泉南市樽井公民館



福岡県筑豊じん肺の原田弁護士の経験の話。この被害者に何をしてあげられるか？この人を助けるかどうかで、勝ッ！亡くなつた方の歌をつくりうたつてくれました。胸に深く残っています。原告の松島さんも大黒様を味方にいい祝い歌でした。ね。

最高裁は法律論を見直して欲しい。人生を台無しにされた弱者は命も顧みず、清く正しく生きるために働いただけの被害者です。この被害者が救われたい。誰が助けてくれるのか。裁判をして六年。尊い六名の人命が奪われました。退院できるといわれながら急変するのがアスペクト病です。悔しい、悲しい、この怒りを国に言いたい。絶対に逆転勝利を期して、団結して闘いましょう。(湖山)

「命あるうちの解決」望む原告・被害者の呼びかけ

### 正義問われる

「命あるうちの解決」望む原告・被害者の呼びかけ

AS判、64頁、定価630円(本体600円)

心後して下ろす

最高裁で勝利めざす  
大阪泉南アスベスト国賠訴訟を勝たせるサポーター

## 泉南応援団

大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告会・弁護団  
大阪泉南アスベスト国賠訴訟を勝たせる会

### 応援団カンパ

カンパは一口1000円とします  
できるだけ団体は5口以上  
個人は2口以上お願いします  
ゆうちょ銀行 店番 099  
当座 00980-3-195214  
名義 泉南地域のアスベスト  
国賠訴訟を勝たせる会



Blue Sky 青少年 日本環境研修団  
Blue Sky 青少年 日本環境研修団  
Blue Sky 青少年 日本環境研修団

## 韓国青少年日本環境研修団と交流 日韓交流がアジアへひろがる運動に

おおさか市民ネットワーク 藤永のぶよ

二〇一二年一月十五日朝一〇時、十二人の子ども達と六人のスタッフは、元気に手を振り、「ト、マンナヨ！」と大声で叫びながら満員のゲートに消えていきました。団長のヤン・フンモは「本当に充実した大阪でした。カンナムニダ！」として、皆さまよろしくと別れのハグをしました。

このたびの視察研修は、年末の多忙さで準備が遅れ、皆さまには大変ご無理なお願いをいたしました。にもかかわらず、副市長の表敬あいさつをはじめ、随所にお心配り頂きました。

ヤン君は、当初、あらかじめ予備学習もしてこなかったもので、子どもたちの受け止め方が悪く、失礼なことが起こらないかと心配していたのですが、実は子どもたちには、良い意味で大変インパクトの強い交流だったようです。最終日の報告会では、すべての子どもたちが、病をお

当面する行動日程	
2.23	裁判所 屋宣伝
29	最高裁 宣伝行動
	最高裁 要請行動
	東京地裁 首都圏建設アスベスト訴訟・東京・原告本人尋問
3.3	中大駿河台記念館 建設A全国連絡会弁護団会議
4	ユーズ・ツウ 建設アスベスト・原告との学習会
8	裁判所 屋宣伝
11	扇町公園 原発ゼロ集会で宣伝
20	サラダホール 原告団総会
22	裁判所 屋宣伝
28	地裁 202号大法廷 2陣判決
29	東京行動 東京行動
30	東京行動 東京行動
4.29	サラダホール 最終相談会



して闘っているアスベスト被害者の皆さまへの尊敬、なぜ、補償の出る人とならない人がいるのか、被害者救済のために惜しみない協力をされている住民団体・弁護士さんの存在にも尊敬の念を抱いたと言った。あとで聞いた話で「将来の夢は？」と聞くと、それぞれに「\*学校へ行きたい」「\*学校の勉強をし\*の仕事を就きたい」と言っていました。その方は「韓国の子どもたちにもこういう夢は持たせたい」と言っていました。谷弁護士が大好きになった彼女は、岡田陽子さんの話を涙ながらに聞いていました。そして、「私は将来建設の方にすすむ積りで、いろいろな建物を設計して建てるつもりです。」

その時には泉南のことを絶対に忘れません！」といいました。

大田の市会議員さんの朴貞炫（パク・ジョンヒョン）さんは、「泉南で在日韓国人被害者に会えたこと、被害の実相を聞いたこと、大変衝撃をうけました。これから、大田市に帰り、自分のミッションとして、いったい私たちに何が出来るか考えていきたい、支援できることがあれば教えてもらいたい」といわれました。

長い助け合いの輪がまた一つ広がりました。心からの感謝を込めて報告します。

## 阪南市と泉南市の成人式で宣伝行動

で何回か見て知っている」と言っていて、快く署名をしてくれた若者たちや、「店においていてあげる」と言っていて、2人連れの美容師さん（中年の女性）もありました。家族連れで来ている人たちもいて、署名に協力的でした。

（参加した支援者の感想です）

- ・ピラ配りだけでなく署名もやったことで、若者に接触できて良かった。
- ・成人式のあの盛り上がりがあった雰囲気の中で、あれだけの署名が集まるとは思っていなかった。
- ・新婦人の人たちが、自分たちのピラを渡しながら「アスベストの署名もお願いします」と訴えてくれて良かった。
- ・原告の方がたくさん参加したので、私たちも頑張らなければ」と励まされた。
- ・おばあちゃんが石綿で死んだという子が、友だちに呼びかけてみんなで署名をしてくれた。

